



コーヒー勉強会第1回
アフリカのコーヒーと日本 × アフリカ理解プロジェクト

コーヒーとフェアトレード

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン

2009年8月29日



**特定非営利活動法人
フェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ)**

- **設立** 1993年11月 (前身「トランスフェア・ジャパン」)
- **理念**
国際フェアトレードラベル機構 (FLO International) の構成メンバーとして、**フェアトレード・ラベル運動**を通し、不利な立場にある開発途上国の生産者や労働者の持続可能な開発とエンパワメントを実現し、生産者・企業・消費者のより公平なパートナーシップのもと、社会的・経済的・環境的に持続可能な世界の実現を目指す。
- **役割**
 - ライセンス業務・製品認証業務:
 - 輸入業者、製造業者、販売業者、生産者、FLOとのコーディネート
 - フェアトレード・国際フェアトレード認証ラベルの普及推進活動
 - FLO運営全般への参加

2

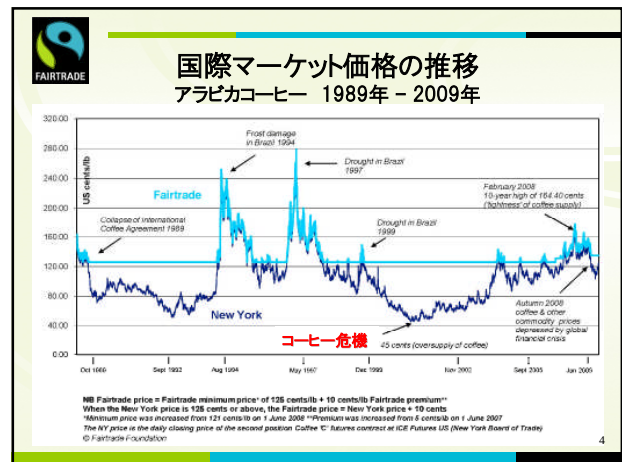


コーヒー

- ▶ 日本は**世界第3位**のコーヒー輸入国、一人当たり**338杯/年**
- ▶ 一次産品としては石油に次ぐ**第2位**の取引規模
- ▶ 赤道をはさむ南北緯25度が生産地域「**コーヒーベルト**」



出所: 社団法人 全日本コーヒー協会ウェブサイト




コーヒー1杯から見えてくる世界の課題

- ▶ 世界の貧困問題
- ▶ 環境問題

世界の一次産品価格の下落によりー
コーヒー総輸出額: 1980年代後半の約120億ドルから
2003年には55億ドルまで減少

「フェアトレード」
＝「フェア(公平な)」「トレード(貿易)」

貧困を生み出す貿易の構造そのものを見直す



フェアトレードの定義

フェアトレードは、対話、透明性、敬意を基盤とし、より公平な条件下で国際貿易を行うことを目指す**貿易パートナーシップ**である。

特に「南」の弱い立場にある生産者や労働者に対し、より良い貿易条件を提供し、かつ彼らの権利を守ることであり、フェアトレードは**持続可能な発展**に貢献する。

フェアトレード団体は(消費者に支持されることによって)、生産者の支援、啓発活動、および従来の国際貿易のルールと慣行を変える運動に積極的に取り組むことを約束する。

(注) 国際的フェアトレードネットワークFINEの定義による

6



フェアトレードの歴史

- 1946年 アメリカのテン・サウザンド・ビレッジがプエルトリコから刺繍製品の購入を始める
 - 1960年代 ヨーロッパを中心にフェアトレードショップが開店し、フェアトレード運動が広がる
 - 1970年代以降 日本でも複数の市民団体がフェアトレードの活動開始
- ↓
- 市民団体や教会組織などの限られたマーケット
貧困の解決には、途上国のより多くの生産者が市場と繋がる必要がある

フェアトレード商品を一般のマーケットにも広め、
より多くの消費者に買ってもらうためにはどう
したらいいか？

7



フェアトレード・ラベル運動のおこり

- ❖ 明確な**フェアトレード基準**の設定
- ❖ 基準を満たした商品に**ラベル**を貼り消費者にわかりやすく
- ❖ 企業でもフェアトレードに取り組める仕組み、一般の流通へ

- 1988年 オランダで初めてのラベル組織Max Havelaar設立
- 1993年 ドイツ、日本でもラベル組織TransFairが創設
- 1997年 世界各国のラベル組織がまとまりFLO設立
- 2002年 世界統一の認証ラベルが完成
- 2004年 FLO-CERT(認証会社)を分離

8



国際フェアトレードラベル機構 Fairtrade Labelling Organizations International (FLO)

各国ラベル推進組織
(21組織)

生産者ネットワーク組織
(3組織 - 中南米・アフリカ・アジア)

FLO International (非営利組織)

- ・国際フェアトレード基準の設定
- ・生産者支援
- ・アドボカシー

FLO-CERT (認証会社)

- ・生産者認証
- ・トレーダー認証

ISO/IECガイド65認定取得

9



国際フェアトレード基準の原則

経済的基準	社会的基準	環境的基準
➢ フェアトレード最低価格の保証 ➢ フェアトレード・プレミアムの保証 ➢ 長期的な安定した取引 ➢ 前払い	➢ 安全な労働環境 ➢ 民主的な運営 ➢ 労働者の人権 ➢ 地域の社会開発プロジェクト ➢ 児童労働・強制労働の禁止	➢ 農薬・薬品の使用に関する規定 ➢ 土壌・水源の管理 ➢ 環境に優しい生産 ➢ 有機栽培の奨励 ➢ 遺伝子組み換え品(GMO)の禁止

10



フェアトレード価格の基準

フェアトレード最低価格とプレミアムは、産品毎、地域毎に明確に価格が設定されています。

◆フェアトレード最低価格とは？

生産コストをまかない、かつ経済的・社会的・環境的に持続可能な生産と生活を支える価格のことをいう。輸入業者は生産者組合に対して、少なくとも最低価格を保証しなければならない。

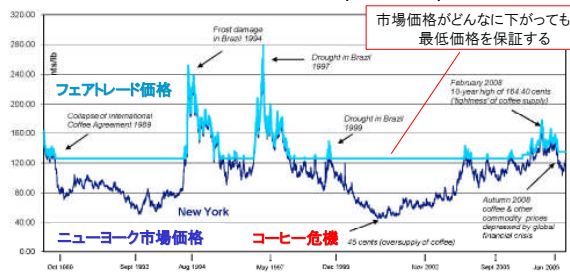
◆フェアトレード・プレミアム(奨励金)とは？

品物の代金としてではなく、組合や地域の経済的・社会的・環境的開発のために使われるべき資金。使途は各生産者組合が民主的に決定する。輸入業者は、最低価格の保証に加えてプレミアムも必ず保証しなければならない。

11



国際マーケットとフェアトレード価格の比較 アラビカコーヒー 1989年 - 2006年



NB Fairtrade price = Fairtrade minimum price of 125 cents + 10 cents/fairtrade premium
When the New York price is 125 cents or above, the Fairtrade price = New York price + 10 cents
Minimum price was increased from 125 cents to 130 cents on 1 June 2008 **Premium was increased from 8 cents to 10 cents on 1 June 2007
The NY price is the daily closing price at the second position Coffee "C" futures contract at ICE Futures Ltd (New York Board of Trade)
© Fairtrade Foundation

12



フェアトレードコーヒーの基準

フェアトレード最低価格の保証（'08年6月～適用）

アラビカ種(Washed) 125 USセント/ポンド

ロブスタ種(Washed) 105 USセント/ポンド

有機認証コーヒーの上乗せ

20 USセント/ポンド

フェアトレード・プレミアム

10 USセント/ポンド

13



フェアトレード認証対象産品 - 全18種

食品

- ・ コーヒー
- ・ 紅茶
- ・ カカオ
- ・ 蜂蜜
- ・ 砂糖
- ・ パナナ
- ・ ジュース
- ・ 果物・野菜
- ・ ドライフルーツ
- ・ ワイン
- ・ ナッツ
- ・ ハーブ・香辛料
- ・ キヌア
- ・ 米
- ・ 大豆・豆類

食品以外

- ・ スポーツボール
- ・ 切花・観賞用植物
- ・ コットン

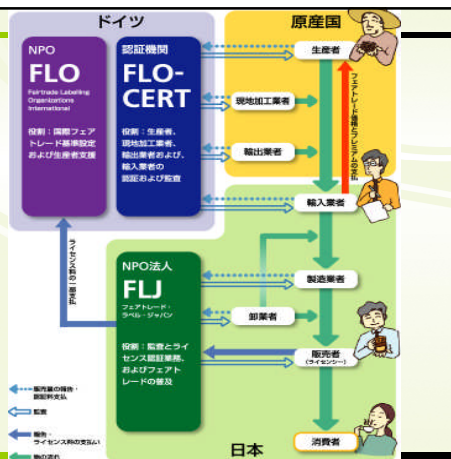
※各産品のフェアトレード最低価格とプレミアム金額一覧

http://www.fairtrade.net/generic_standards.html?&L=1s#c4426

14



フェアトレード製品認証の仕組み

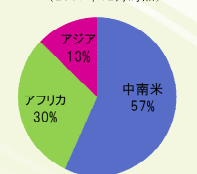


フェアトレード認証生産者

・746組合・農園(世界59カ国)-2008年12月末現在

・加盟生産者・労働者数:100万人(家族を含めると推定500万人に利益)

認証生産者組織数 地域別割合
(2007年12月時点)



生産者が受け取ったプレミアム総額

⇒コーヒー:1,200万ユーロ(約18億円)

⇒パナナ:1,100万ユーロ(約16億5千万円)

※「生産者」

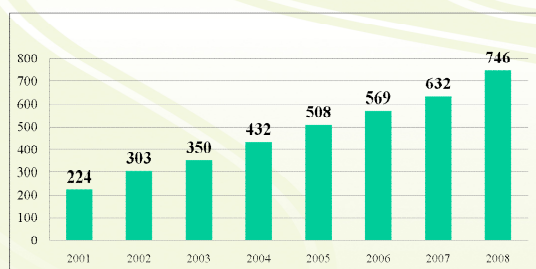
・小規模生産者が集まってできた生産者組合

・労働者を雇用している農園・工場

16



フェアトレード認証生産者組織数の推移 2001年 - 2008年



17

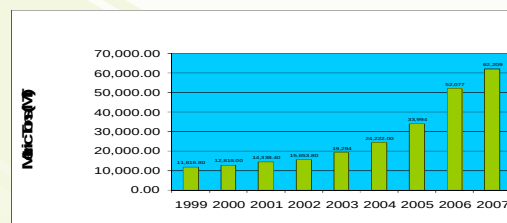


フェアトレード認証コーヒー

世界の販売量(2008年) ⇒ 65,808トン(前年比14%)

生産者組合数(2007年) ⇒ 256(約40万農家)

有機認証の割合(2008年) ⇒ 約48%



18

**フェアトレード・プレミアムによる
社会開発プロジェクト**

生産者・農園労働者自ら民主的に使途を決定
組合や地域の経済的・社会的・環境的發展のために活用

水 **教育** **インフラ** **保健医療**



19

エチオピア

➢ 面積: 109.7万km²(日本の約3倍)
➢ 人口: 7,910万人(2008年世銀)
➢ 1人当たりGNI(国民総所得): 220USドル(2008年世銀) = **約2.2万円(1日約60円)**
➢ 主要産業: 農業(雇用の約85%) - およそ4人に一人がコーヒー産業に従事
➢ 貿易額輸出: 1,185百万USドル(2008年世銀) → **およそ50%がコーヒー**
➢ 日本のエチオピア産コーヒー生豆輸入量(全日本コーヒー協会統計より)
2006年: 38,753t(国別輸入量第4位)
2007年: 29,327t(国別輸入量第5位)
2008年: 8,413t(国別輸入量第6位)
➢ フェアトレード認証生産者組織: 3組合(2009年8月現在)

20

**エチオピア
オロミアコーヒー生産者組合連合**

設立:	1999年6月1日 34組合(22,503農家)によるエチオピア初のコーヒー組合連合
認証:	エチオピア初のコーヒー有機認証取得(2002年) エチオピア初のフェアトレード認証(2001年)
組合員数:	129生産組合(128,361農家 - 家族を含めて約80万人) うちフェアトレード認証生産組合は28
年間収穫高:	144,046トン(エチオピア総収穫高の約65%)
マーケット:	政府管轄のオークションを通さずに、直接海外の業者と取引 70%ほどが欧米フェアトレード市場向け

JICA一村一品調査団訪問における組合連合本部からの聞き取り調査(2007年2月)
およびオロミアコーヒー生産者組合連合ウェブサイト参照

21

プレミアムによる地域社会への貢献
-オロミアコーヒー生産者組合連合-

2001年のフェアトレード認証取得以来、プレミアムによって様々なプロジェクトを実現 -
生産者組合員だけではなく地域住民全体に恩恵が行き渡っている

小学校5校、医療センター4棟、飲料水配給所36ヶ所の設置、
中学校建設、橋、電力供給等のプロジェクトも



Clean water supply from Fair Trade Premium
Health post built from the fair trade premium

JICA一村一品調査団訪問における組合連合本部からの聞き取り調査(2007年2月)
およびオロミアコーヒー生産者組合連合ウェブサイト参照/写真出所: オロミアコーヒー生産者組合連合ウェブサイト

22

フェアトレードがもたらすもの

- ・持続可能な生産と生活を可能にする**フェアトレード価格の保証**
- ・生産者組合の**エンパワメント**(市場へのアクセスや交渉力の向上)
- ・**プレミアム**によって生産者**自らが民主的に**地域の社会発展を実現
- ・品質の向上
- ・**環境**に配慮した生産が可能に
- ・**トレーサビリティ**
- ・原料生産から販売者までの**サプライチェーン**がフェアトレード基準遵守

環境にも生産者にも私たち消費者にも
サステナブル(持続可能)な社会へ

23

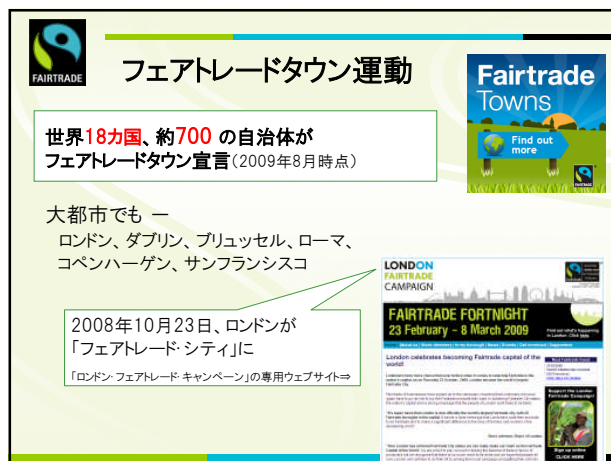
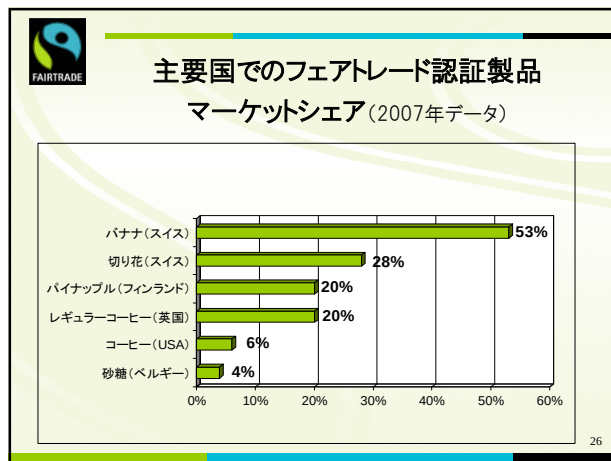
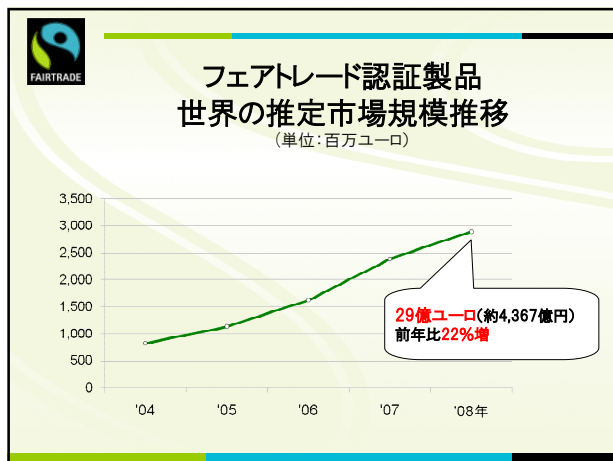
世界に広がるフェアトレード認証製品

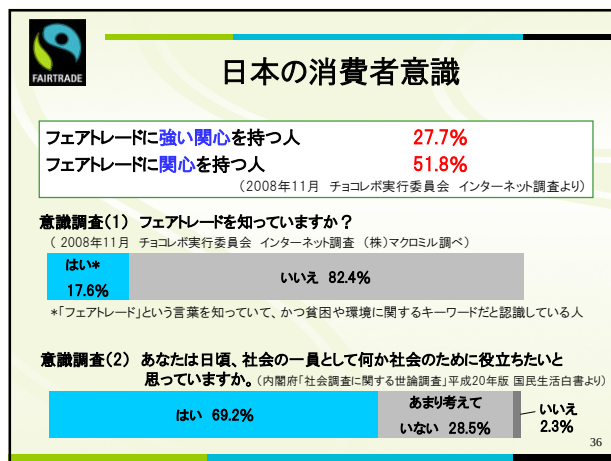
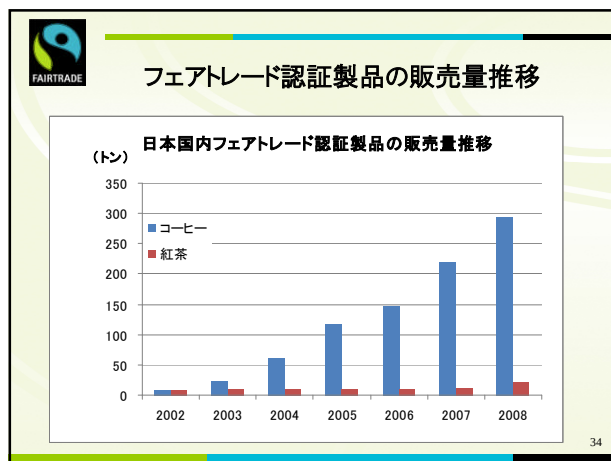
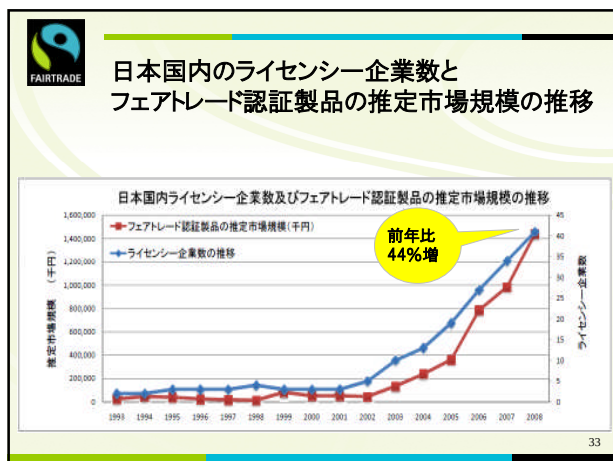
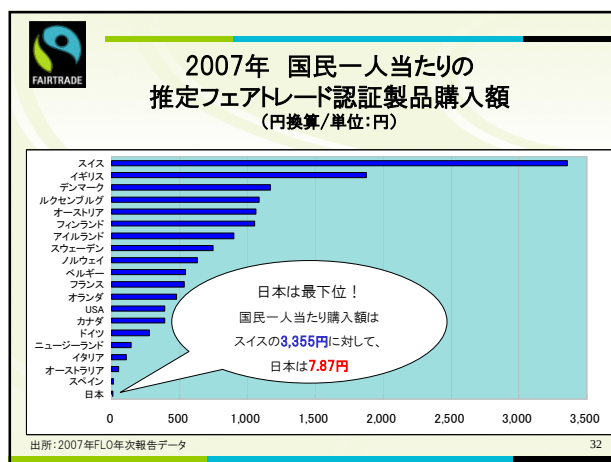
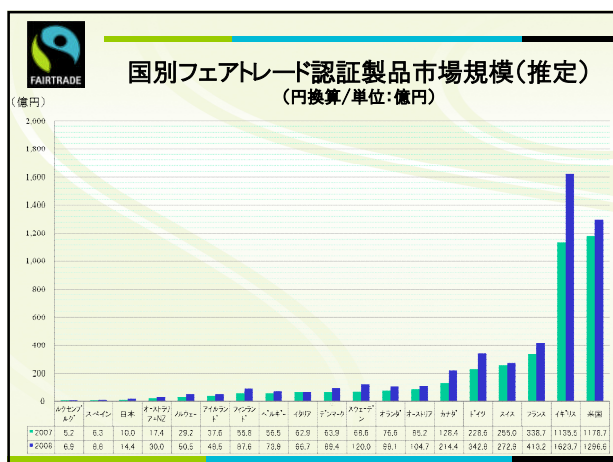
6,000品目以上が60カ国以上で流通



CHECK OUT THE GROWING RANGE OF FAIRTRADE PRODUCTS

24







なぜフェアトレードか？



私たちが担う社会的な責任

「ミレニアム開発目標(MDGs)」

(参考: 外務省ウェブサイト)

2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国代表が、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択

2015年までに達成すべき8つの目標

- ゴール1: 極度の貧困と飢餓の撲滅
- ゴール2: 初等教育の完全普及の達成
- ゴール3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- ゴール4: 乳幼児死亡率の削減
- ゴール5: 妊産婦の健康の改善
- ゴール6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止
- ゴール7: 環境の持続可能性確保
- ゴール8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進



フェアトレードを広げよう

行政

- ・FT推進の決議を可決
- ・FT団体・生産者への財政支援
- ・行政機関でFTコーヒー・紅茶
- ・会議でFTコーヒー (フェアトレード調達)

企業

- ・責任ある調達(CSR)
- ・FT商品への切替
- ・消費者啓発キャンペーン
- ・オフィスにFTコーヒー採用

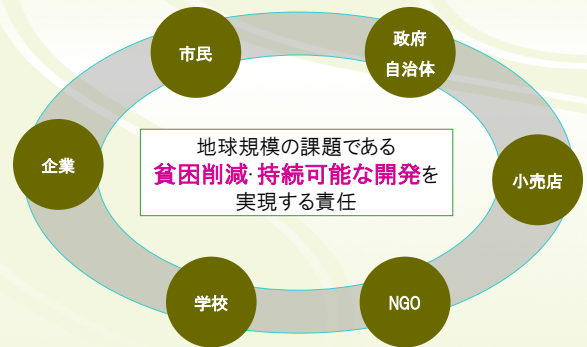
学校

- ・フェアトレード大学・学校宣言
- ・大学でのキャンペーン
- ・大学生協でのFT商品採用
- ・小・中・高校での開発教育

消費者

- ・FT製品の選択・購入
- ・フェアトレード・タウン
- ・地域内でのFT推進
- ・普及啓発活動・イベント開催

39



特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
www.fairtrade-jp.org

FLO International
www.fairtrade.net

FLO-CERT
www.flo-cert.net

どうもありがとうございました。